

山梨県人会連合会 第72回（臨時）総会
令和3年度「幸せ実感！知事とふるさとを語る会」
令和3年11月2日（火曜日）17時30分～@京王プラザホテル

生誕500年 武田信玄の生涯

— 山梨県人に引き継がれる信玄の心 —

はじめに ～武田信玄のイメージ

1. 武田信玄の生涯 武将としての武田信玄
2. 武田信玄の生涯 田を耕す者たちへの武田信玄の思い
3. 武田信玄の生涯 信仰・武田信玄は何を祈った？
4. 武田信玄の生涯 玄人はだしの教養人としての武田信玄

まとめ ～山梨県人に引き継がれる信玄の心



武田信玄像（部分）、富田城跡

森原明廣（山梨県立博物館）



事務局（カマコ）

自己紹介

【第Ⅰ期：八王子】1966年～1988年

東京都八王子市生まれ

“山のお寺♪”生まれ

土器拾いとサッカーの毎日

大学・大学院で考古学を専攻



【第Ⅱ期：調査研究】1990年～2004年

山梨県教育委員会採用

山梨県埋蔵文化財センターで遺跡発掘調査業務

県教育委員会で文化財保護業務

【第Ⅲ期：富士山世界遺産登録】2005年～2013年

県企画部ほかで富士山世界遺産登録業務

【第Ⅳ期：県立博物館】2014年～現在

山梨県立博物館で展覧会やイベント企画など担当



はじめに～武田信玄のイメージ（1）



武田信玄像（部分）
江戸時代、土佐光起筆、山梨県立博物館蔵



武田信玄公銅像（JR甲府駅南口）
昭和45年、宮地寅彦作、武田信玄公奉賛会寄附

はじめに～武田信玄のイメージ（2）



武田信玄像（部分）
戦国時代、高野山持明院蔵



武田信玄像（部分）
江戸時代、山梨県立博物館所蔵



事務局（カメラ）

退出

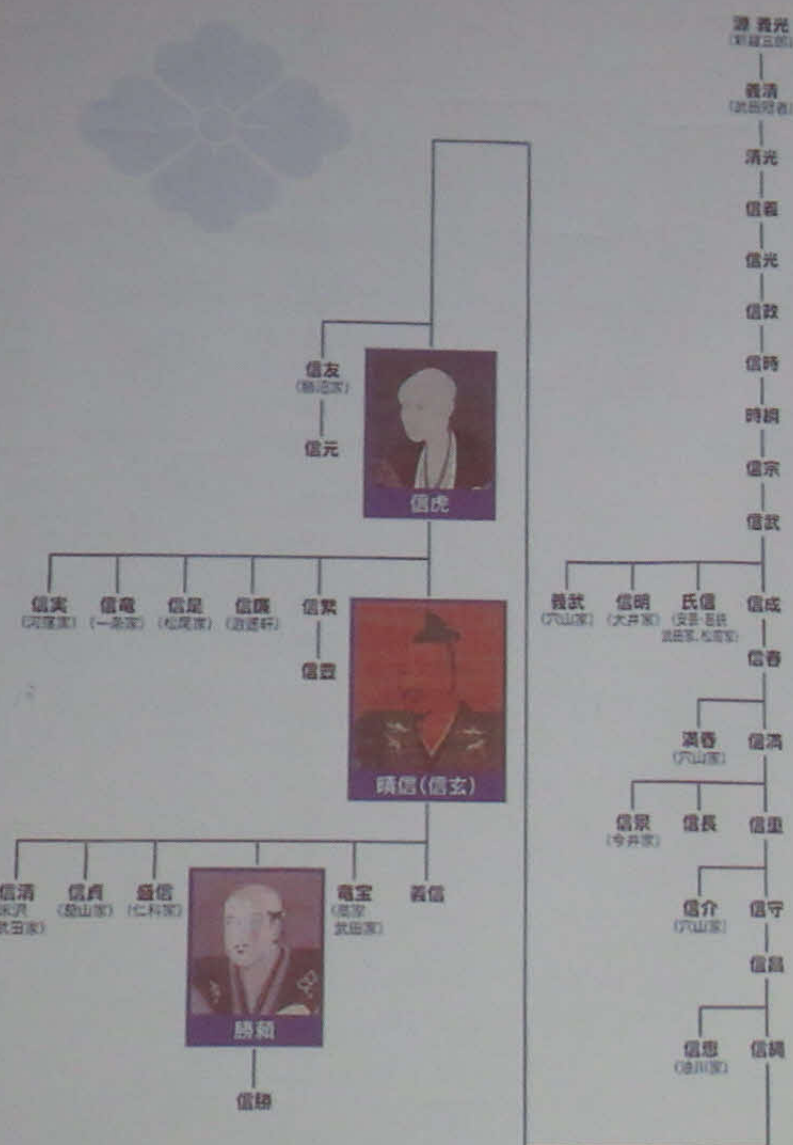
1. 武田信玄の生涯

～武将としての武田信玄（1）

- 清和天皇につながる名門の生まれ
- 御旗楯無、武田二十四将はなぜ信玄に従った？
- 信玄の人心掌握術（感状と褒美）
 - ～「すべての部下を褒め讃えよ」
 - ～迅速な「感状」発出
 - ～褒美としての「金」
- 部下からの絶大な信頼（家柄だけではない）
- ヨーロッパにも聞こえたシンゲンの名前
- 幼名「勝千代」
- 「晴信」名の特殊性（足利義晴）
- 武運長久への思い
- 負けもある（1548年 信濃・村上義清、1550年「戸石くずれ」）
- 圧勝はいけない「六分七分の勝は十分の勝なり」



小桜韋威鎧 兜、大袖付（国宝）



武田信玄系図（『よみがえる 武田信玄の世界』）

武田信玄勢力図

※元亀4年(1573)3月頃



武田信玄勢力図（『生誕500年 武田信玄の生涯』）



事務局（カメラ）

2. 武田信玄の生涯

～田を耕す者たちへの武田信玄の思い

- ・ 父・信虎の追放劇
- ・ 信玄堤（竜王川除）
- ・ 「甲州法度之次第」
- ・ 信玄流“人を従わせる術”
- ・ 「人は城、人は石垣、人は堀、
情けは味方、仇は敵なり」
- ・ 「人をば使わず、技を使うぞ」



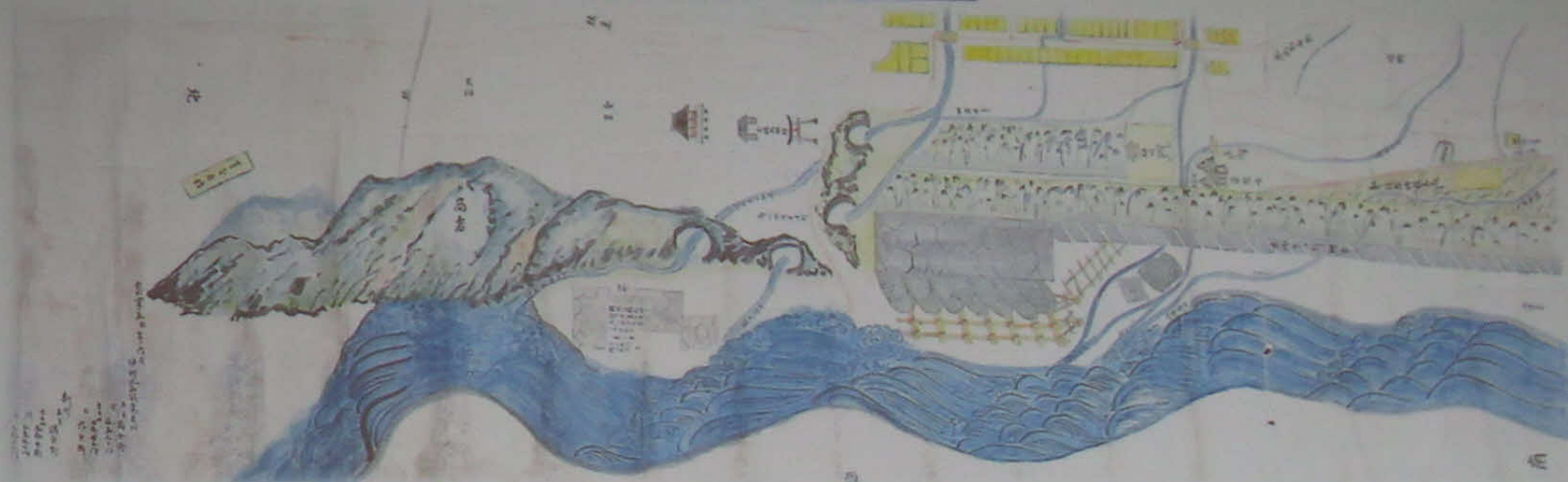
武田信虎像（部分）
天正2年（1574年）、武田信廉筆、
大泉寺蔵

甲州法度之次第
國中之地頭人不申子細恣意横暴之蹟私
令侵収之條是自由之利也若犯科人高請信
被官者不可有地頭之綺田島之事者如下
知可甚別人年貢諸役等々地頭紅蓮可辨
情列思地者不及書載次在家妻子女
財之事者如定法編可渡之
公事出沙汰場は後奉行人之外不可致披

甲州法度之次第
天文16～23年（1547～54年）、
天保14年（1843年）写



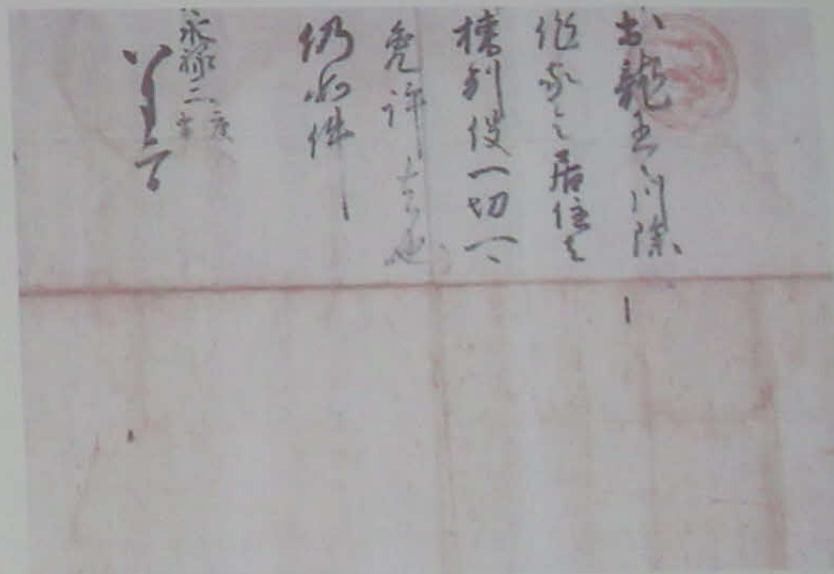
事務局（カメラ）



信玄堤絵図、貞享5年（1688年）、文政12年（1829年）写、山梨県立博物館蔵



現在の信玄堤（甲斐市竜王）



武田家朱印状、永禄3年（1560年）、個人蔵（山梨県立博物館蔵）



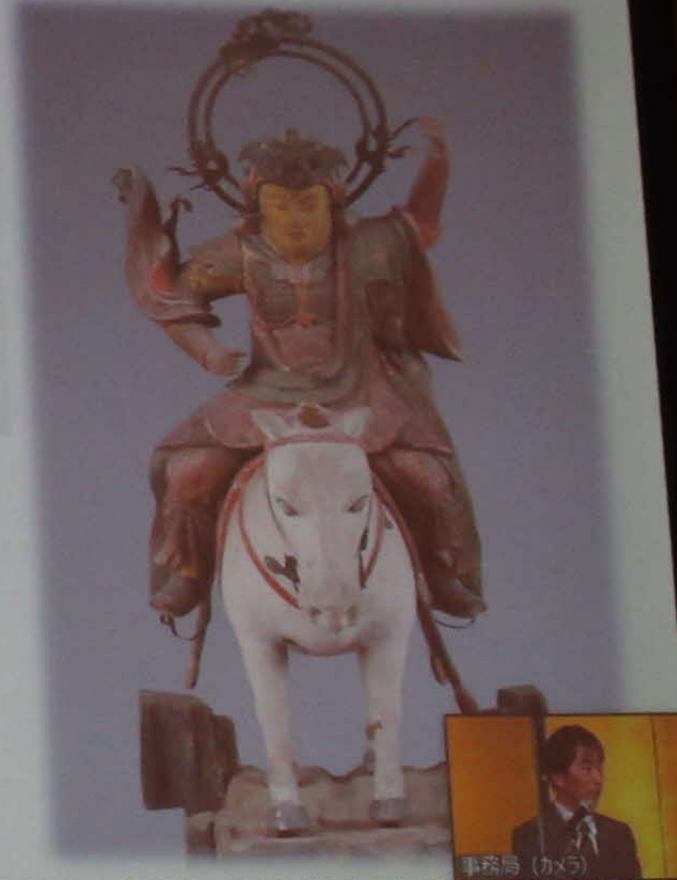
3. 武田**信**玄の生涯

～**信**仰・武田信玄は何を祈った？

- ・武運長久 ～負け戦の苦い体験
- ・家族への思い
 - ～父・信虎の追放、
 - ～嫡男・義信との確執
 - ～次男・竜芳への思い
 - ～嫁いだ愛娘たちへの思い
- ・“武田不動尊”（恵林寺）の新発見
 - ～信玄の姿を模した像容、制作時期、
 - 制作者、なぜ？

奉終浅間大菩薩御寶前
 信玄息女武田氏政屋中也今時當壯
 懷之哀惟來六七月之頃胎胎必歎
 願願期孕產平安子母共無恙未
 之禍機者婦富士浅間之神功
 若走神祝不空於中宮之室集つ
 百衆之衆門而令諸諸法華經
 王如之可奉終神功大威應之
 一伴割日談之仍願報敬白
 永祿九年五月吉日 信玄男
 徳宗利

武田信玄願文、永祿9年（1566年）
 富士御室浅間神社蔵



事務局（カメラ）

※事務局（スライド）の画面を表示しています

アプリの画面表示



不動明王坐像、元龜3年（1572年）、康住作、恵林寺蔵



不動明王坐像（腰部の彩色）



事務局（カメラ）

退出

接続
ビデオの停止

19
参加者

チャット

画面の共有

レコーディング

リアクション

4. 武田信玄の生涯

～玄人はだしの教養人としての武田信玄

- 母・大井婦人の教育
 - ～学問の師・岐秀元伯（古長禅寺）
- 和歌・漢詩など文化を通じた教養人
- との交流と情報収集
- 絵画 弟・逍遙軒（信廉）

信玄公の御筆
新雨有馬来
搗衣重外力
月夜雲間月
水と雲と月と
龍川魚眼
若盟兄弟好
野邊春日使
雪使祐光

就荒公落采
快奈黒詩規
幾度緑林初
吟履爲誰濕
詩篇教備推
若盟兄弟好
野邊春日使
雪使祐光



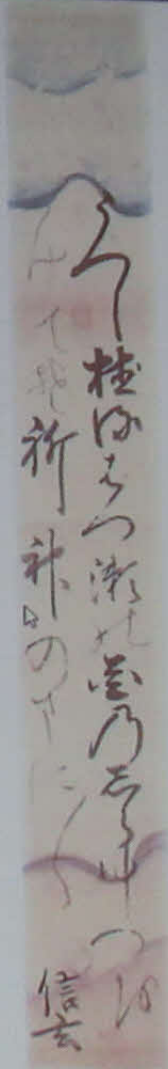
武田信虎夫人像（部分）
天正22年（1553年）、武田信廉筆



事務局（力）



渡唐天神像（部分）
戦国時代、伝 武田信玄、一運寺蔵



武田信玄和歌短冊
戦国時代、甲斐國一宮浅間神社蔵



欝器（きき）の図
戦国時代、熊野神社蔵



事務局（カメラ）

まとめ

～山梨県人に 引き継がれる 信玄の心

- ・ 没後も続く信玄への敬愛
- ・ ～『甲陽軍鑑』
- ・ ～柳沢吉保などからの尊敬
- ・ 力だけの“最強”ではない信玄
- ・ ～豊富な知識
- ・ ～幅広い人脈、登用、謝意
- ・ ～おごり高ぶることない謙譲の心
- ・ 座右の図「敬器の図」
- ・ 現代を生きる“山梨県人”にも
受け継がれた信玄の心



武田二十四将図
江戸時代、山梨県立博物館蔵

疾如風
徐如林
不動如山
掠如火

孫子の旗

